

## 次期指定管理者公募に向けたサウンディング調査の結果概要

### 1. 調査実施期間

令和6年11月11日(月)～11月22日(金)

### 2. 調査対象施設

令和7年度に指定管理者選定を予定している31施設

(うち、サウンディング希望があり対話を実施した施設15施設)

### 3. 参加団体

民間事業者等 全22者

### 4. 主な意見

(施設名や参加団体名[民間事業者名]が特定されにくい表現に改めています)

#### ○対象施設の運営維持管理への参加意欲

- ・関心はあるが、自社だけでは応募できない。他業種とのJVを組むため、マッチングの機会があると参加しやすくなる。

#### ○対象施設の課題・ポテンシャル

- ・施設の老朽化や不良、利用環境改善のため、リニューアルが必要ではないか。

#### ○応募に向けての条件・課題

##### <指定管理期間について>

- ・指定管理期間は、長い方(5年以上)が新商品開発や設備投資がしやすい。
- ・労務単価、物価変動に対応した指定管理料の設定を考えると、指定管理期間は短いほう(3年程度)が望ましい。

##### <その他>

- ・利用料金よりも、経費の方が大きくなるものについては、料金の改正を検討してほしい。
- ・仕様書は、読み取れない業務がないように、できる限り詳細に記載してほしい。
- ・公募の際の提出書類を減らしてほしい。
- ・地元要件(富山に本社、本店が必要)がないと参入しやすい。

#### ○民間ノウハウを活用した県民サービス向上に関する提案

- ・自社の強みを生かした賑わい創出の提案は可能だが、県がどういった賑わいを求めているか、使える場所など具体的に示してほしい。